

2009年7月31日

～ 免震賃貸マンションで地域の防災性能向上に貢献～  
**民間企業として初めて、2年連続となる  
住宅金融支援機構の「理事長表彰」(賃貸住宅部門)を受賞**

スターツCAM株式会社(代表取締役社長:関戸博高)が企画・設計・施工した東京都足立区の「Park View 見沼代」をはじめ、供給する免震賃貸マンションが、地震に対し安全で、地域の防災拠点としての性能向上に貢献したとして、住宅金融支援機構より優良賃貸住宅として『理事長表彰』を、民間企業として初となる2年連続で受賞致しました。

この『理事長表彰』は、住宅金融支援機構(旧住宅金融公庫)の融資を利用し建設された賃貸住宅のうち、子育て世帯や高齢者世帯への配慮といった、日本の住宅政策の課題に対応した良質な賃貸住宅供給や、地域の街づくりの推進に寄与した建物を、住宅金融支援機構が選定・表彰するものです。

選定基準

下記いづれかのテーマに照らして、事業内容が高く評価できるもの

- ・地域の特色を生かした、住環境の整備・改善並びに街づくりに寄与したもの
- ・資源の有効活用やエネルギーの使用削減に寄与する等、環境に配慮したもの
- ・長寿社会への対応を目指していたもの 等



住宅金融支援機構の島田理事長より「感謝状」をいただきました。

< 本件に関するお問い合わせ先 >  
スターツコーポレーション株式会社 広報:工藤 明子  
E-mail: akiko.kudo@starts.co.jp  
TEL:03・6202・0380(直) FAX:03・6202・0333

## 「Park View 見沼代」物件概要

外観写真



[物件名]: Park View 見沼代  
[構造]: RC(中間層免震)  
[階数]: 11F  
[用途]: 店舗、共同住宅  
[間取り・戸数]: 1K、1DK、1LDK、2LDK-59  
[竣工日]: 2009.03.25  
[住所]: 東京都足立区舎人



万一の時に生活用水が確保できる『井戸』  
と「トイレになるマンホール」



エントランスホール

「免震マンション」は地震発生時の建物機能を維持するとともに、入居者の安全を守る建物です。スタートCAM株式会社では、建物の基礎部分に関わるコストアップの大幅な削減を可能とした「高床免震」の技術を開発し、2005年9月特許を取得しました。また、狭小地対応の「吊床免震マンション」や、日本初の「3階建て免震マンション」を商品化しており、現在、全国で140棟の免震マンションを受注しております。(2009年7月末現在)

スタートの免震マンションはただ単に「免震装置」のある建物ではありません。万が一来るかもしれない大地震に備え、建築されるお客様に『井戸』の設置を依頼しております。また、非常時には「かまどになるベンチ」や「トイレになるマンホール」も設置しています。災害時、建物が壊れないことはもちろん、『井戸』の水を地域コミュニティーに提供し、防災の拠点となる建物を目指しています。別の観点として、大災害に限らず、街に『井戸』があり日常的に人が集える場所は、地域コミュニティーの形成を促します。そのつながりこそが最良の防災対策だと考えます。

スタートCAM株式会社は、今後も免震技術の開発に努め、お客様の大切な資産を守るとともに、入居者様が安心して生活できる環境・街づくりに努めてまいります。